

## インターネット相談実績報告

日本いのちの電話連盟では、2016年10月より、マイページ登録制による最大3回までの継続相談が可能なメール形式の相談を実施している。2018年は盛岡、仙台、秋田、新潟、栃木、埼玉、東京、川崎、静岡、浜松、愛知、奈良、愛媛、福岡の14センターに連盟を入れた15の拠点で相談活動を行った。

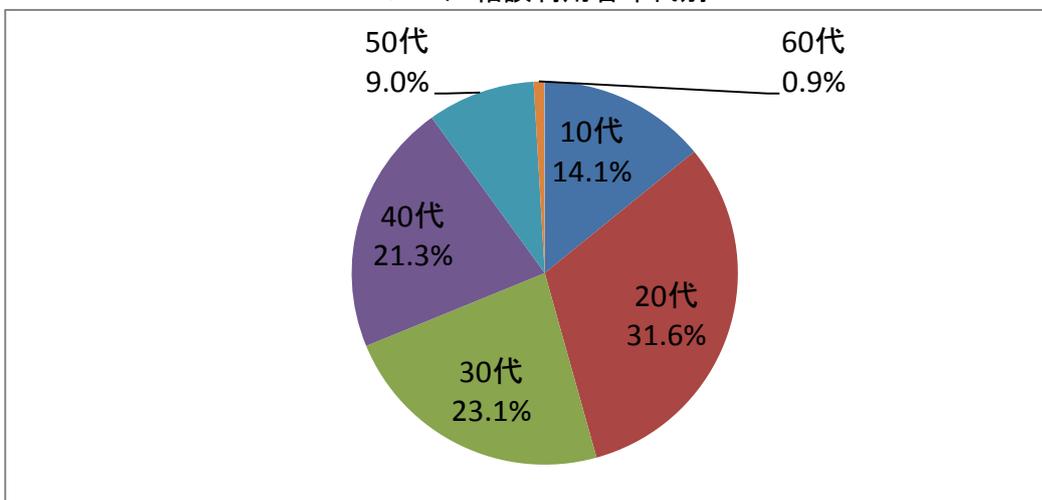
2018年1月～12月までの相談件数は、1,618件（男性495件 女性1,108件 その他15件）、相談利用者の年代は、10代～30代までの若年層が約7割と、電話相談の利用が少ない世代からの相談を受けている。

自殺傾向率は51.6%と昨年の45.4%より6.2ポイント高くなり、自殺についてテキストで相談できる窓口として、若い世代に周知されてきている状況もうかがえた。

相談内容については、家庭内や職場・学校等での人間関係の不和、また仕事の適正・適職等の悩みを訴える相談が目立った。気持ちを聞いてもらうだけでなく、悩みや困り事への具体的な提案・助言を求める相談も多く見られた。

また9月、3月の自殺対策強化月間に各々1週間実施したチャット形式による相談（トライアル）では、20代の女性を中心に90件（男性19件 女性70件 その他1件）の相談に対応した。

メール相談利用者年代別



メール相談内容問題別

